

令和4年度

大学院自然科学研究科進学意向アンケート

集計結果

(博士前期課程1年次対象)

令和4年7月

新潟大学大学院自然科学研究科附属教育研究高度化センター

教育プログラム企画・検証改善部門

## 目 次

I	アンケート調査の概要	1
II	アンケートの集計結果	2
III	アンケート調査票	20

## I アンケート調査の概要

### 1 調査目的

博士前期課程1 年次学生の進路にかかわる意向調査で大学生活において、充実した進路・キャリア形成の機会をつくることを目的として実施

### 2 実施期間

令和4年4月20日（水）～5月16日（月）

### 3 実施方法

調査対象：令和4年度博士前期課程1年次生（令和3年10月入学者含む）

調査方法：学務情報システムアンケート機能を利用

### 4 回答状況

学生数：621名 回答数：291名 回収率：46.9%

### 5 集計方法

【出身学部別】について

◇「理・工・農学部」には、本学出身者を計上しています。

◇「その他」には、本学の他学部（教育学部、創生学部）出身者及び本学以外の学生数を計上しています。

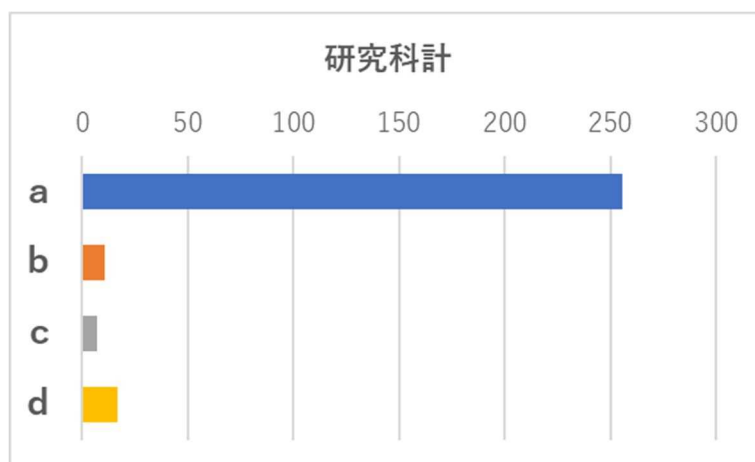
**現時点で予定している進路**

**【所属別】**

		数理物質	材料生産	電気情報	生命食料	環境科学	研究科計
a	就職をしたい。	24	81	31	55	65	256
b	新潟大学大学院の博士後期課程へ進学をしたい。	3	0	3	1	4	11
c	他大学大学院の博士後期課程へ進学をしたい。	1	1	3	1	1	7
d	未定である。	2	4	3	2	6	17

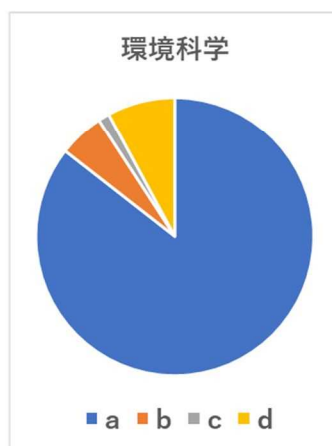
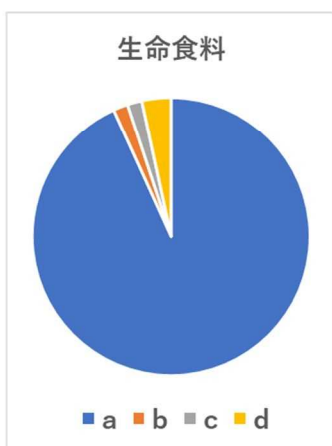
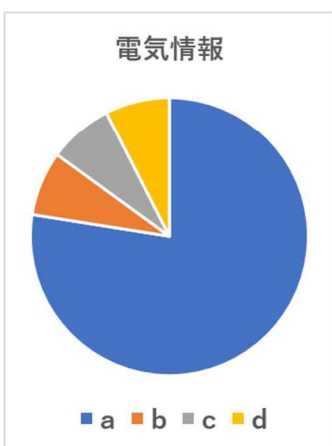
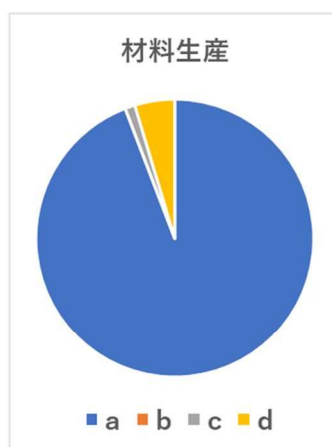
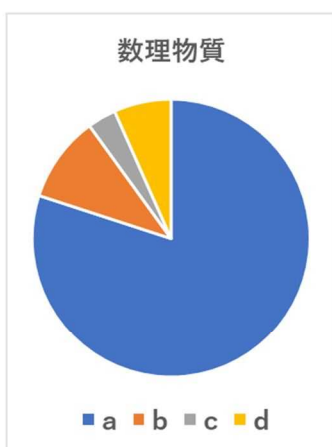
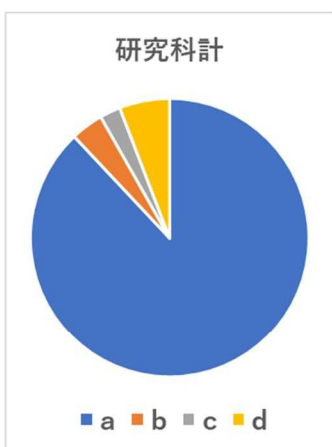
**【出身学部別】**

		理学部	工学部	農学部	その他	研究科計
a	就職をしたい。	45	161	32	18	256
b	新潟大学大学院の博士後期課程へ進学をしたい。	3	2	1	5	11
c	他大学大学院の博士後期課程へ進学をしたい。	1	4	2	0	7
d	未定である。	2	5	3	7	17

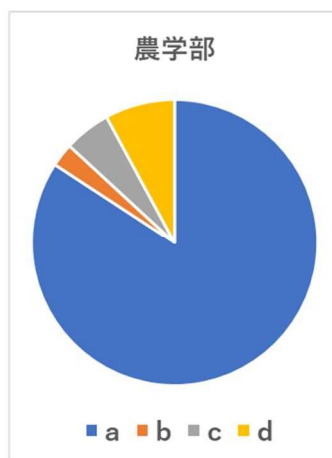
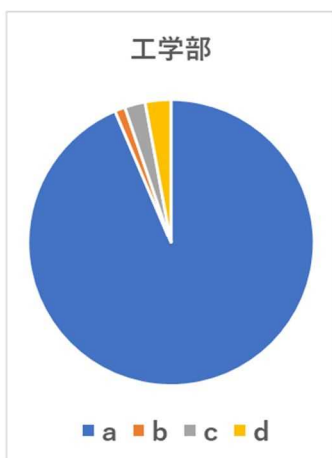
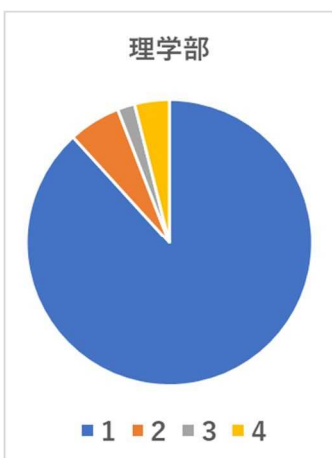


- 大多数（88%）が就職を希望（進学希望は6%）。昨年度とほぼ同じ。
- 数理物質科学、電気情報で若干進学希望比率が高い。理学部出身学生で進学希望比率が若干高いか。

【所属別】



【出身学部別】



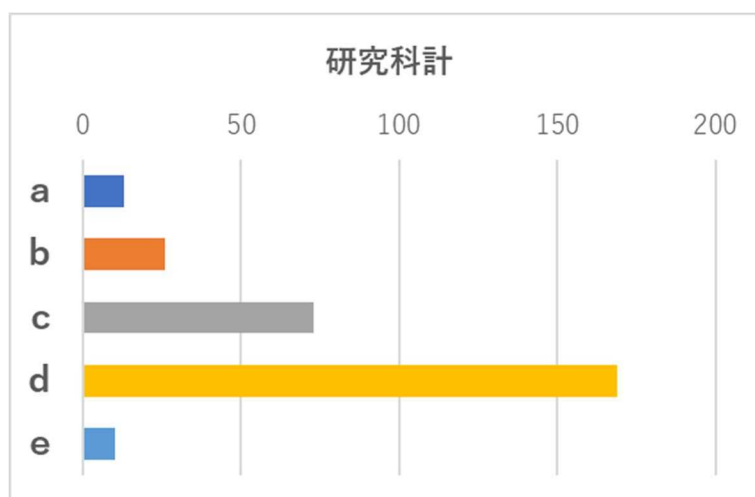
## 意思決定の度合い

### 【所属別】

		数理物質	材料生産	電気情報	生命食料	環境科学	研究科計
a	とても迷っている。	5	2	2	1	3	13
b	迷っている。	3	8	3	3	9	26
c	あまり迷っていない。	9	9	17	25	13	73
d	まったく迷っていない。	13	63	38	21	34	169
e	まだ、考えたことがない。	0	2	2	1	5	10

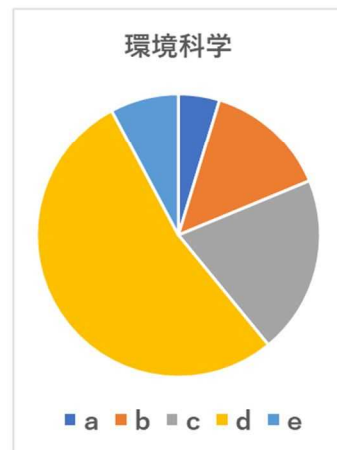
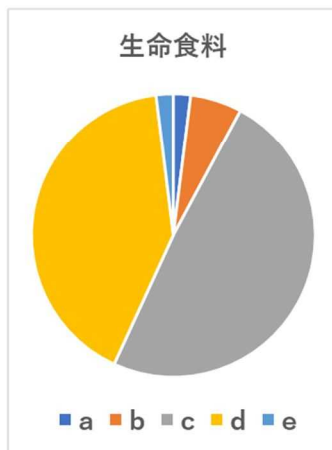
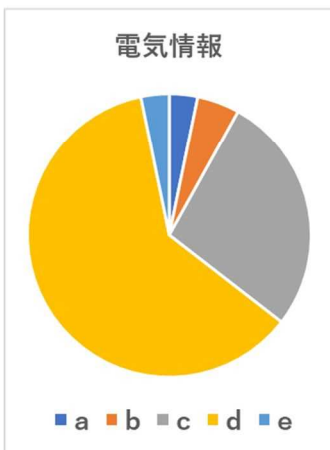
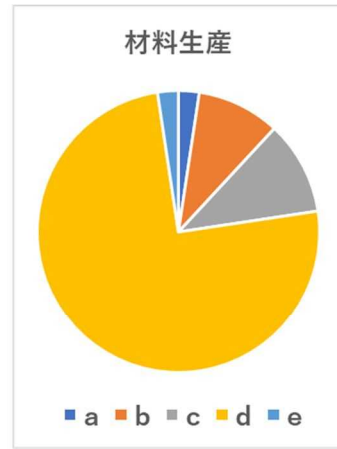
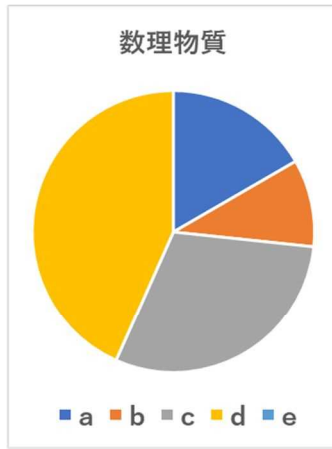
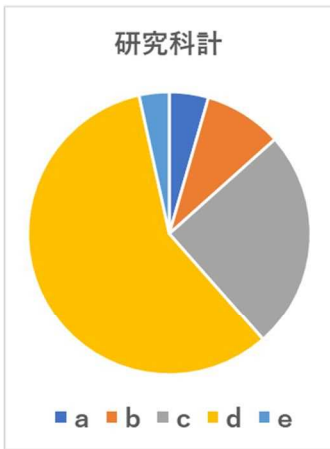
### 【出身学部別】

		理学部	工学部	農学部	その他	研究科計
a	とても迷っている。	4	5	3	1	13
b	迷っている。	7	8	3	8	26
c	あまり迷っていない。	17	38	8	10	73
d	まったく迷っていない。	22	117	23	7	169
e	まだ、考えたことがない。	1	4	1	4	10

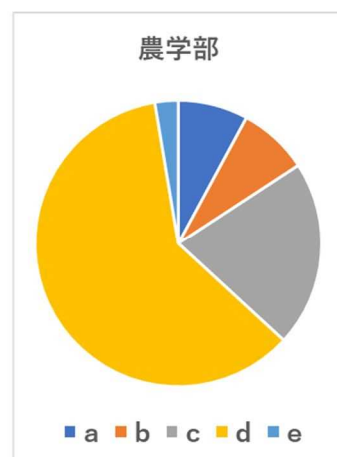
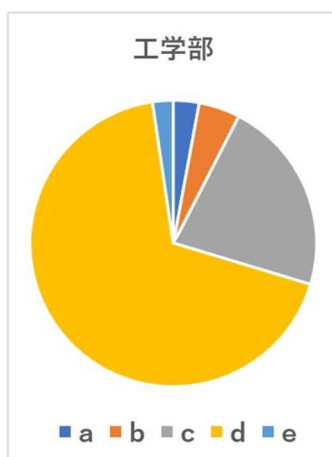
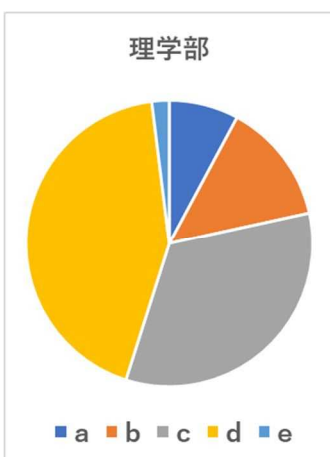


- あまり迷っていない・全く迷っていないで87%を占める（昨年度と同じ）。全く迷っていないの割合は昨年度より増加（50%→58%）
- 迷っている比率が高いのは数理物質と環境科学専攻。昨年度に比べ数理物質が増え生命食料は減少した。

【所属別】



【出身学部別】



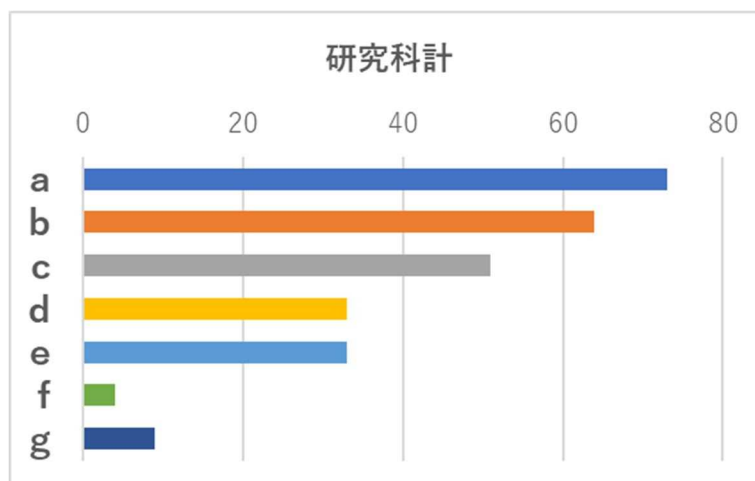
## 迷っている理由

### 【所属別】

		数理工学	材料生産	電気情報	生命食料	環境科学	研究科計
a	進学することでさらにお金がかかるから。	9	18	13	11	22	73
b	博士課程に求められているレベルを備えているか、向いているのか不安だから。	11	15	11	7	20	64
c	博士課程修了後、就職できるかどうか不安だから。	7	12	10	9	13	51
d	博士進学についての情報が少なく、進学後の生活がイメージできないから。	5	11	8	5	4	33
e	博士進学しても就職で有利になるイメージがないから。	4	9	11	4	5	33
f	指導教員が多忙で、十分な指導を受けられるか不安があるから	1	1	1	0	1	4
g	その他（次の設問で理由を記入してください）	1	3	0	1	4	9

### 【出身学部別】

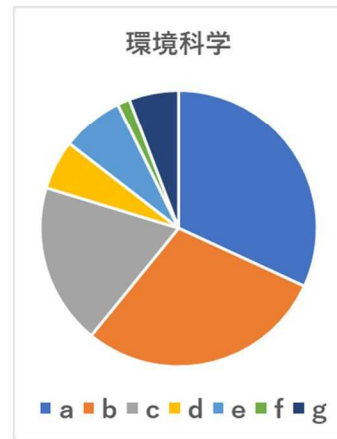
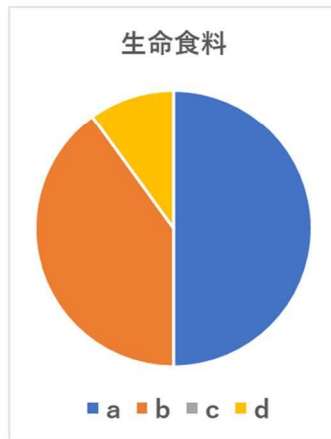
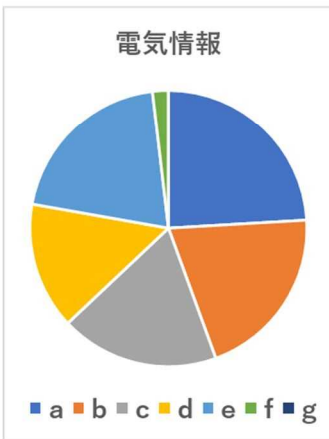
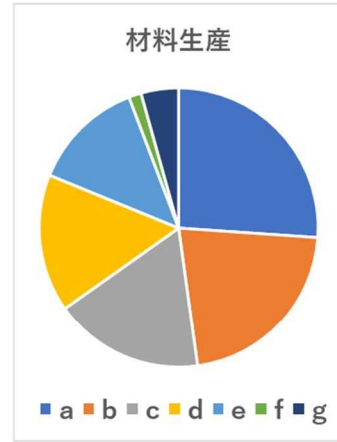
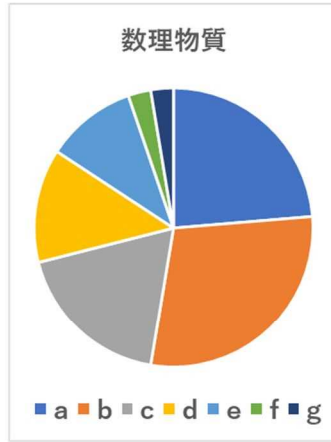
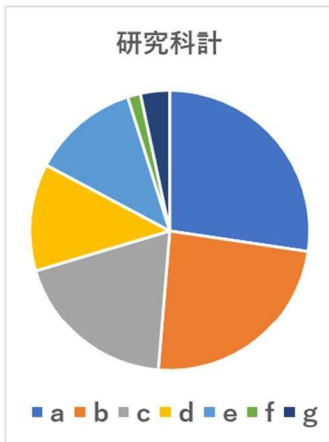
		理学部	工学部	農学部	その他	研究科計
a	進学することでさらにお金がかかるから。	13	37	13	10	73
b	博士課程に求められているレベルを備えているか、向いているのか不安だから。	18	26	8	12	64
c	博士課程修了後、就職できるかどうか不安だから。	11	24	6	10	51
d	博士進学についての情報が少なく、進学後の生活がイメージできないから。	5	21	4	3	33
e	博士進学しても就職で有利になるイメージがないから。	5	18	3	7	33
f	指導教員が多忙で、十分な指導を受けられるか不安があるから	2	2	0	0	4
g	その他（次の設問で理由を記入してください）	3	2	2	2	9



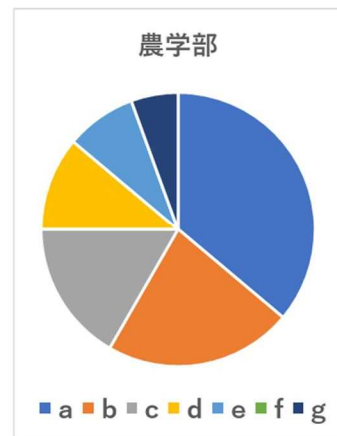
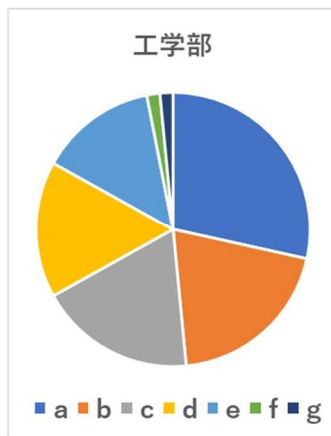
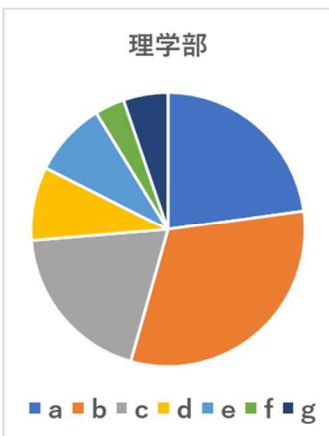
- 順番は若干異なるが昨年同様「自信」「お金」「就職」が迷っている理由となっている。
- 指導教員の多忙さは進学を迷うのにはほぼ影響はしていないように思われる。



**【所属別】**



**【出身学部別】**



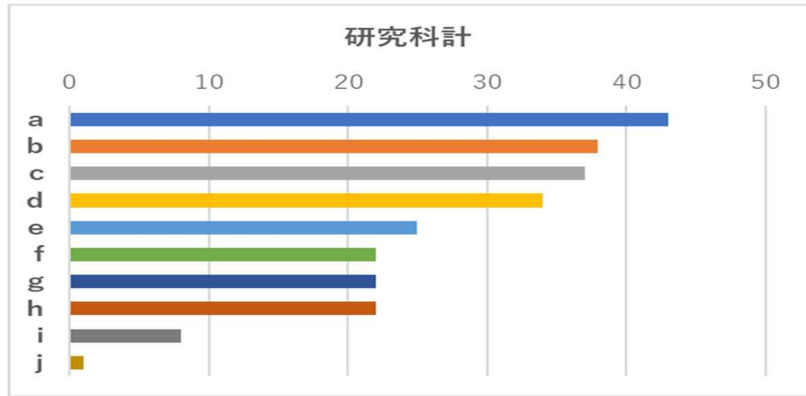
## 不安である理由

### 【所属別】

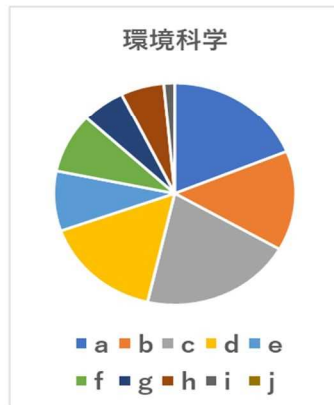
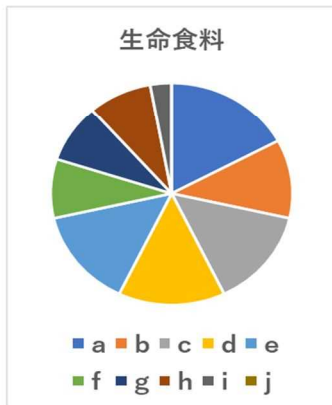
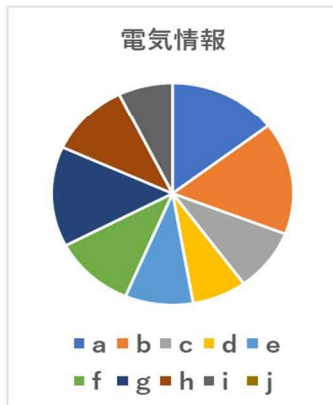
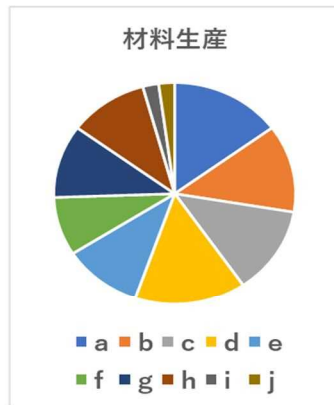
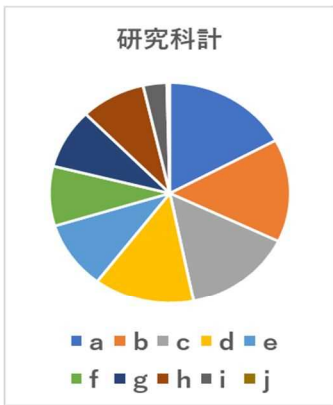
		数理物質	材料生産	電気情報	生命食料	環境科学	研究科計
a	研究成果を論文（博士論文含む）にまでまとめることができるか不安。	9	7	8	6	13	43
b	専攻分野の研究に必要な基礎的知識を身につけているか不安がある。	9	6	9	4	10	38
c	自分は研究には向いていないかも知れないと思っている。	7	6	5	5	14	37
d	専攻分野への深い興味や探求心を持っているか、研究が本当に好きかどうか現段階では自分でも分からない。	7	7	4	5	11	34
e	博士課程の先輩を見ていて、自分が研究についていけるか不安がある。	4	5	5	5	6	25
f	グローバルに活躍し海外の研究者とも情報交換できるか不安（語学力）。	3	4	6	3	6	22
g	標準修業年限（3年間）で修了できるか不安がある。	2	5	8	3	4	22
h	そもそも博士課程で要求されるレベルが分かっていない。	4	5	6	3	4	22
i	他大学大学院の様子・レベルがわからない。	1	1	4	1	1	8
j	その他（次の設問で理由を記入してください）	0	1	0	0	0	1

### 【出身学部別】

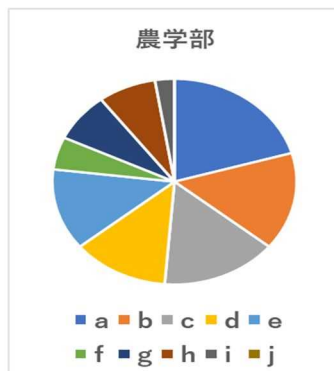
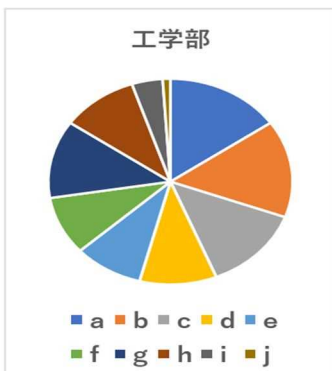
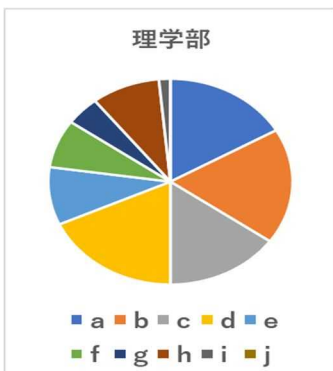
		理学部	工学部	農学部	その他	研究科計
a	研究成果を論文（博士論文含む）にまでまとめることができるか不安。	11	15	8	9	43
b	専攻分野の研究に必要な基礎的知識を身につけているか不安がある。	12	15	6	5	38
c	自分は研究には向いていないかも知れないと思っている。	10	13	6	8	37
d	専攻分野への深い興味や探求心を持っているか、研究が本当に好きかどうか現段階では自分でも分からない。	12	10	5	7	34
e	博士課程の先輩を見ていて、自分が研究についていけるか不安がある。	6	9	5	5	25
f	グローバルに活躍し海外の研究者とも情報交換できるか不安（語学力）。	5	9	2	6	22
g	標準修業年限（3年間）で修了できるか不安がある。	3	12	3	4	22
h	そもそも博士課程で要求されるレベルが分かっていない。	6	10	3	3	22
i	他大学大学院の様子・レベルがわからない。	1	4	1	2	8
j	その他（次の設問で理由を記入してください）	0	1	0	0	1



**【所属別】**



**【出身学部別】**



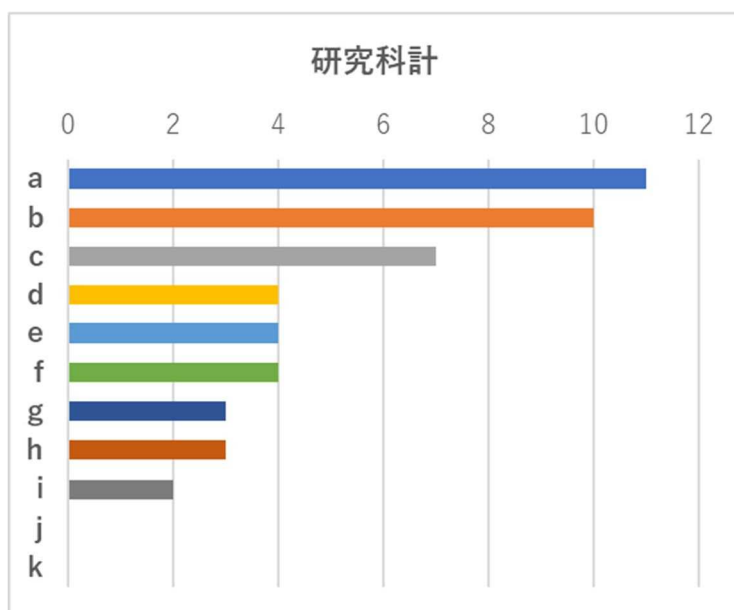
## 博士進学に影響する観点

### 【所属別】

		数理物質	材料生産	電気情報	生命食料	環境科学	研究科計
a	博士課程でも研究を続けることで、より成長できると思うから。	3	0	2	1	5	11
b	学部での研究テーマが魅力的で、博士課程でもその研究を継続したいから。	4	0	1	1	4	10
c	将来は、アカデミアでの活躍を希望しているから。	2	0	1	0	4	7
d	接した教員が魅力的だったから。	0	0	2	1	1	4
e	博士課程でも、企業や他大学との共同研究をより経験したいから。	1	0	0	0	3	4
f	就職活動に有利だと思うから。	0	1	1	0	2	4
g	接した先輩が魅力的だったから。	0	0	1	0	2	3
h	学部での研究活動が充実していたから。	1	1	1	0	0	3
i	正直、深く考えていない。	1	1	0	0	0	2
j	周囲がそうするので。	0	0	0	0	0	0
k	その他（次の設問で理由を記入してください）	0	0	0	0	0	0

### 【出身学部別】

		理学部	工学部	農学部	その他	研究科計
a	博士課程でも研究を続けることで、より成長できると思うから。	2	2	1	6	11
b	学部での研究テーマが魅力的で、博士課程でもその研究を継続したいから。	4	1	1	4	10
c	将来は、アカデミアでの活躍を希望しているから。	2	1	1	3	7
d	接した教員が魅力的だったから。	0	1	0	3	4
e	博士課程でも、企業や他大学との共同研究をより経験したいから。	2	0	0	2	4
f	就職活動に有利だと思うから。	0	1	0	3	4
g	接した先輩が魅力的だったから。	0	2	0	1	3
h	学部での研究活動が充実していたから。	1	1	0	1	3
i	正直、深く考えていない。	1	0	0	1	2
j	周囲がそうするので。	0	0	0	0	0
k	その他（次の設問で理由を記入してください）	0	0	0	0	0



- 回答数が少ないため、明確な傾向は出しにくいですが、「進学によってより成長できているから」がトップ。昨年度と同じ。
- 「学部からの研究テーマを継続したい」が前年より倍となっている。



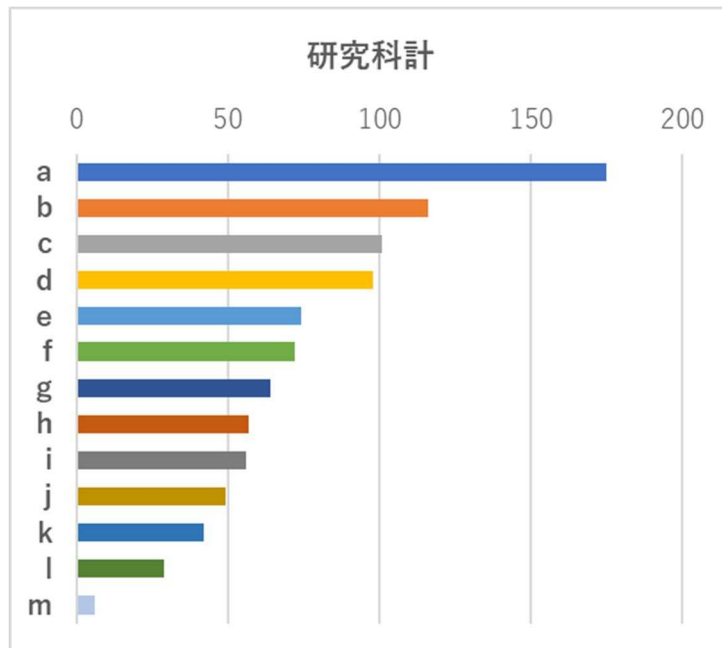
## 進学を前向きに検討するためには？

### 【所属別】

		数理工学	材料生産	電気情報	生命食料	環境科学	研究科計
a	学費・生活費に対する経済的支援が必要である。	20	50	42	23	40	175
b	博士課程に対応した就職支援の取り組みが必要である。	15	33	27	17	24	116
c	自分自身の研究について、その内容及び時間に裁量があること。	10	21	24	15	31	101
d	企業との関わり（連携授業、共同研究、インターシップなど）が必要である。	10	31	17	17	23	98
e	身近にロールモデルや相談役がいることが必要である。	7	14	20	14	19	74
f	教育・研究指導を受ける機会の充実が必要である。	5	13	17	15	22	72
g	社会との関わり（学会・学術界以外の一般社会に向けた情報発信など）が必要である。	6	17	13	12	16	64
h	指導者・研究者としての教員の質の高さが必要である。	3	20	13	6	15	57
i	国際的な学術交流（海外での研究インターンシップ、海外の大学への留学、国際学会、海外機関との共同研究など）が必要である。	3	19	11	6	17	56
j	分野・専攻を超えた学問交流・融合が必要である。	3	14	12	8	12	49
k	目的に応じて計画的に組まれた講義や演習が必要である。	8	10	11	8	5	42
l	大学発ベンチャー企業での活動が必要である。	2	10	8	6	3	29
m	その他（次の設問で理由を記入してください）	2	0	1	1	2	6

【出身学部別】

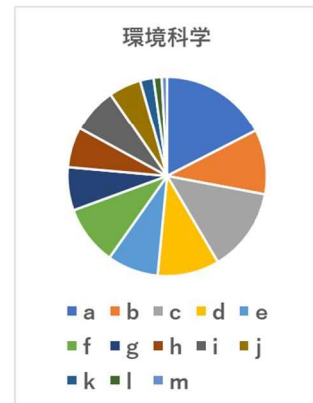
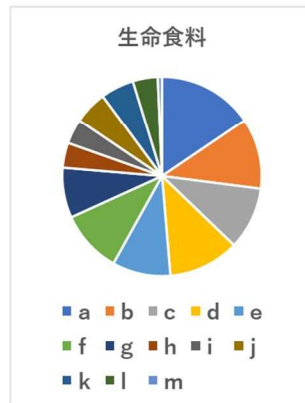
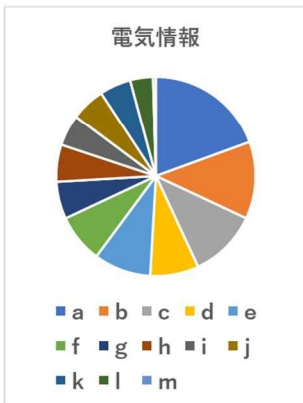
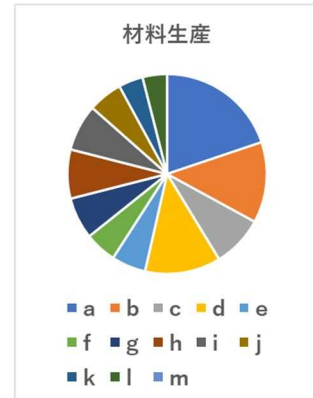
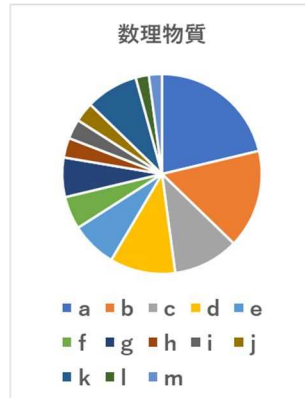
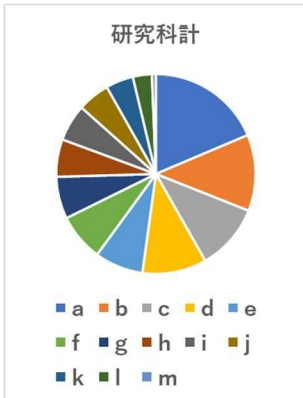
		理学部	工学部	農学部	その他	研究科計
a	学費・生活費に対する経済的支援が必要である。	31	101	25	18	175
b	博士課程に対応した就職支援の取り組みが必要である。	23	64	20	9	116
c	自分自身の研究について、その内容及び時間に裁量があること。	23	52	15	11	101
d	企業との関わり（連携授業、共同研究、インターシップなど）が必要である。	16	53	18	11	98
e	身近にロールモデルや相談役がいることが必要である。	13	39	19	3	74
f	教育・研究指導を受ける機会の充実が必要である。	9	38	15	10	72
g	社会との関わり（学会・学术界以外の一般社会に向けた情報発信など）が必要である。	8	31	17	8	64
h	指導者・研究者としての教員の質の高さが必要である。	6	40	7	4	57
i	国際的な学術交流（海外での研究インターンシップ、海外の大学への留学、国際学会、海外機関との共同研究など）が必要である。	6	36	3	11	56
j	分野・専攻を超えた学問交流・融合が必要である。	5	28	7	9	49
k	目的に応じて計画的に組まれた講義や演習が必要である。	10	22	6	4	42
l	大学発ベンチャー企業での活動が必要である。	3	17	4	5	29
m	その他（次の設問で理由を記入してください）	3	1	2	0	6



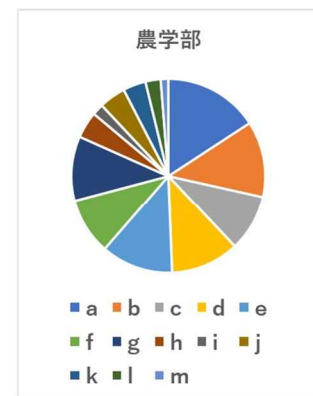
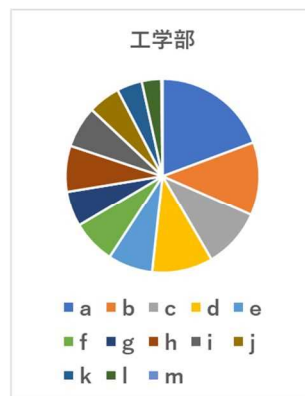
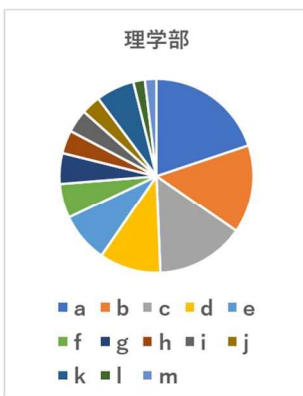
- 専攻・出身学部で顕著な差はない。
- 「経済的支援」がトップ。「就職支援」、「研究に対する裁量」、「企業との関わり」、「ロールモデル」と続く点は、昨年度と同様。
- 「教育・研究指導を受ける機会の充実」が昨年度(41人)に比べて増えている。



**【所属別】**



**【出身学部別】**



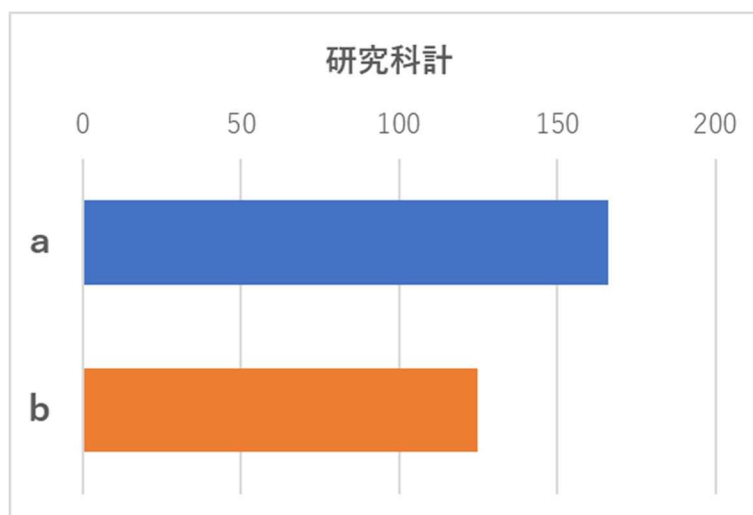
博士進学を支援する返還不要の奨学金制度があることを知っているか？

【所属別】

		数理物質	材料生産	電気情報	生命食料	環境科学	研究科計
a	知っている。	24	48	35	18	41	166
b	知らなかった。	6	40	27	17	35	125

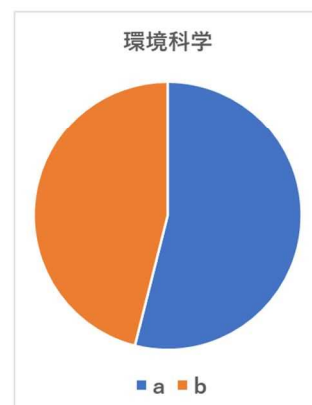
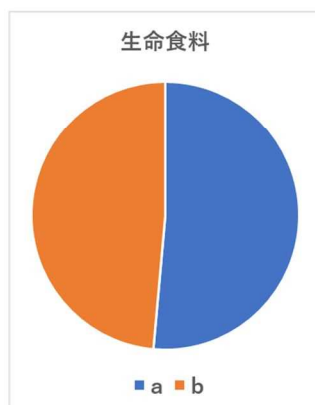
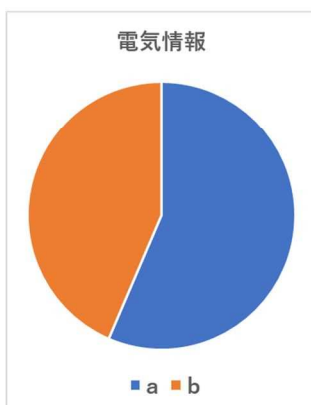
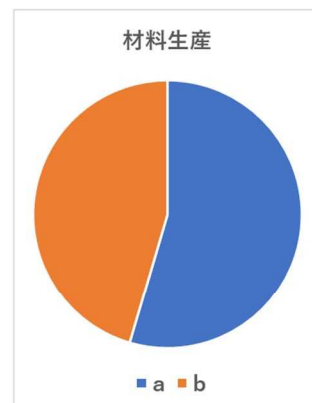
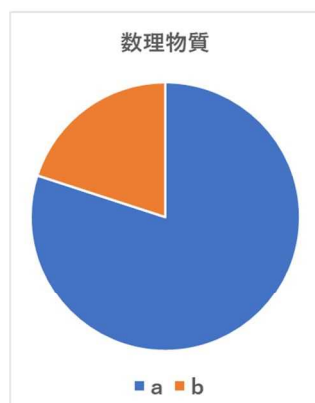
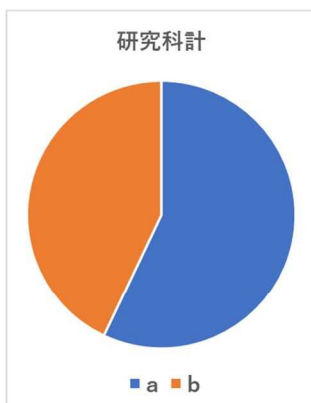
【出身学部別】

		理学部	工学部	農学部	その他	研究科計
a	知っている。	40	91	23	12	166
b	知らなかった。	11	81	15	18	125

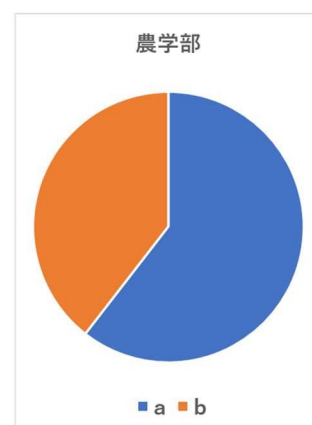
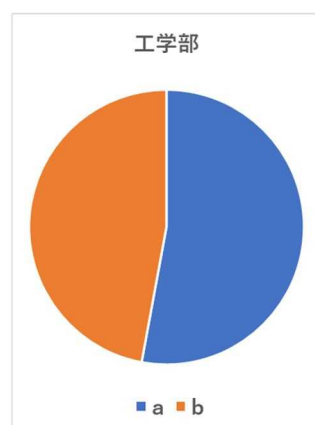
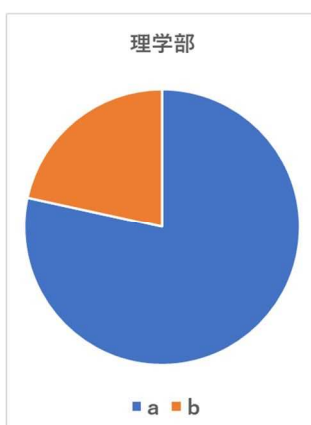


- アンケート回収のうち半数以上が奨学金制度を知っていた。特に数理物質科学、理学部出身者で知っている比率が高かった。

### 【所属別】



### 【出身学部別】



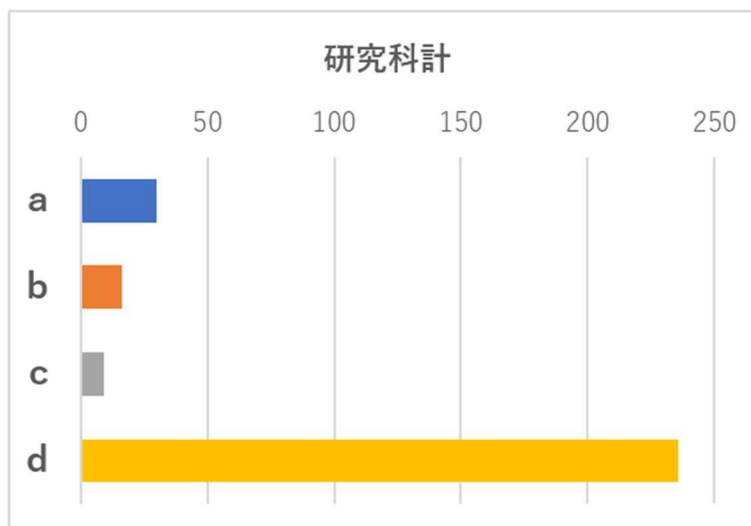
## 奨学金制度があれば、博士進学を検討する材料となるか？

### 【所属別】

		数理物質	材料生産	電気情報	生命食料	環境科学	研究科計
a	金銭的問題で博士進学をあきらめていたが、この制度を利用して博士進学を検討したい。	5	9	5	2	9	30
b	奨学金制度は知らなかったが、当初から博士進学するつもり。できれば制度を利用しようと思う。	0	4	4	3	5	16
c	奨学金制度とは関係なく、当初から博士進学するつもり。制度を利用することはない。	3	2	1	0	3	9
d	奨学金制度とは関係なく、博士進学するつもりはない。	22	73	52	30	59	236

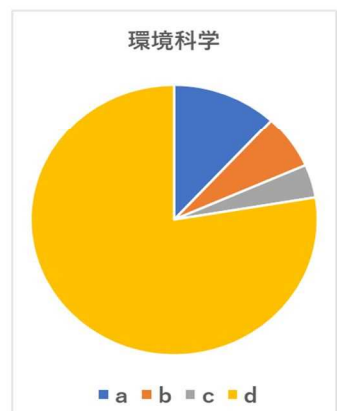
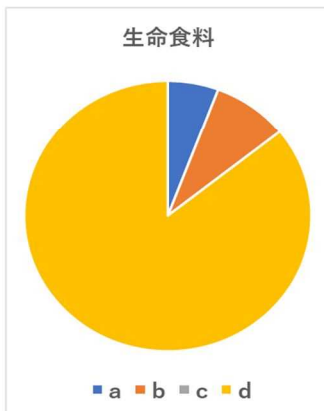
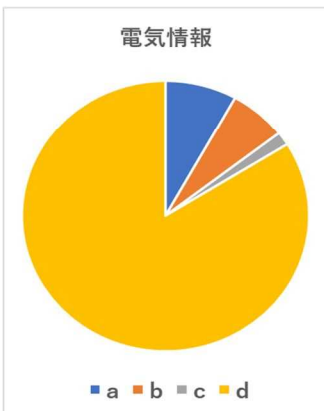
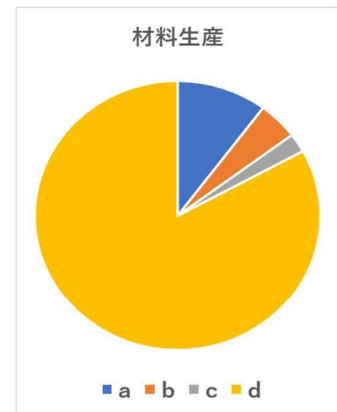
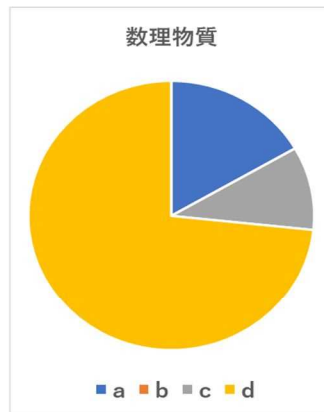
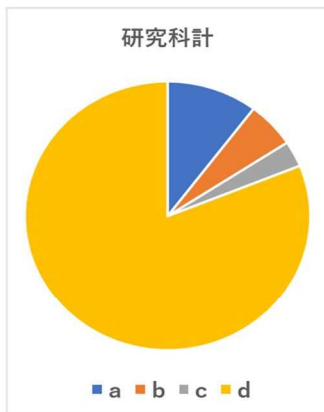
### 【出身学部別】

		理学部	工学部	農学部	その他	研究科計
a	金銭的問題で博士進学をあきらめていたが、この制度を利用して博士進学を検討したい。	6	16	3	5	30
b	奨学金制度は知らなかったが、当初から博士進学するつもり。できれば制度を利用しようと思う。	0	4	2	10	16
c	奨学金制度とは関係なく、当初から博士進学するつもり。制度を利用することはない。	5	3	1	0	9
d	奨学金制度とは関係なく、博士進学するつもりはない。	40	149	32	15	236

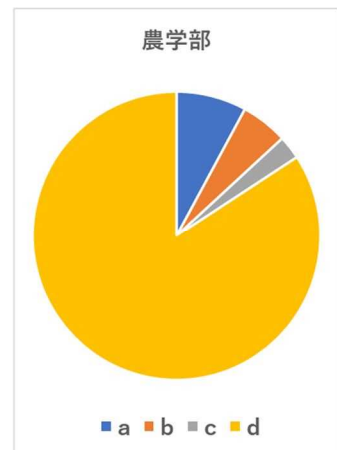
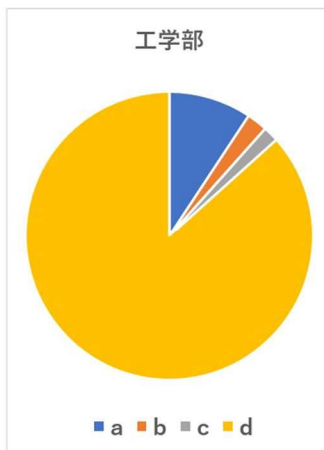
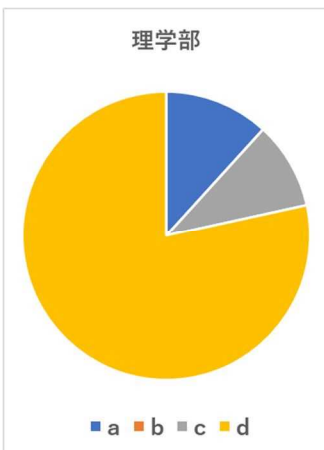


- 制度を知って 30 名が新たに進学を検討したいと回答しており、制度の周知が重要と考えられる。

【所属別】



【出身学部別】



**タイトル** 令和4年度大学院自然科学研究科進学意向アンケート（修士課程1年次生対象）

はじめに

このアンケートは、自然科学研究科が、令和4年度修士課程1年次対象に行う大学院自然科学研究科「進路にかかわる意向調査」となります。

アンケートの実施目的は、皆さん（本学学生）が、大学生活において、充実した進路・キャリア形成の機会をつくるために調査をさせていただくものとなります。

また、そのために必要な情報として、本研究科が保有をして調査・分析に活用します。

**見出し**

以上をふまえ、アンケートに回答される場合は、

新潟大学プライバシーポリシー（<https://www.niigata-u.ac.jp/privacy/>）に同意の上、ご回答ください。

回答が成績評価等に影響することはありませんので、すべての設問に素直にお答えください。

設問は9問で所要時間の目安は6分程度です。

なお、アンケートの締切日は、5月16日（月）となります。どうぞご協力願います。

**添付ファイル**

結果確認時  
参照ファイル

**1:基本情報：学籍番号を記入してください。【記述式 8文字以内】（必須）**

入力文字数：0文字

**2:博士後期課程進学を検討：現時点で予定をしている修士課程修了後の進路について教えてください。【4者択1】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。**

1.  就職をしたい。
2.  新潟大学大学院の博士後期課程へ進学をしたい。
3.  他大学大学院の博士後期課程へ進学をしたい。
4.  未定である。

**3:博士課程進学を検討：設問2の修士課程修了後の進路について、意思決定の度合いを教えてください。【5者択1】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。**

1.  とても迷っている。
2.  迷っている。
3.  あまり迷っていない。
4.  まったく迷っていない。
5.  まだ、考えたことがない。

**4-1:博士課程進学を検討：設問3の質問で1～3のいずれかを回答した方にお伺いします。修士課程修了後の進路について、迷っている理由を教えてください。【7者択7】※最低1個の選択肢を選択してください。**

1.  博士課程修了後、就職できるかどうか不安だから。
2.  博士進学についての情報が少なく、進学後の生活がイメージできないから。
3.  進学することでさらにお金がかかるから。
4.  博士課程に求められているレベルを備えているか、向いているのか不安だから。
5.  博士進学しても就職で有利になるイメージがないから。
6.  指導教員が多忙で、十分な指導を受けられるか不安があるから
7.  その他（次の設問で理由を記入してください）

4-2:設問4-1の質問で7.その他と回答した方はその理由をご記入ください。【記述式 400文字以内】

入力文字数：0文字

5-1:設問4-1の質問で4と回答した方にお伺いします。不安である理由としてはどのようなものが考えられますか。【10者択10】 ※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  専攻分野への深い興味や探求心を持っているか、研究が本当に好きかどうか現段階では自分でも分からない。
2.  自分は研究には向いていないかも知れないと思っている。
3.  専攻分野の研究に必要な基礎的知識を身につけているか不安がある。
4.  研究成果を論文（博士論文含む）にまでまとめることができるか不安。
5.  グローバルに活躍し海外の研究者とも情報交換できるか不安（語学力）。
6.  博士課程の先輩を見ていて、自分が研究についていけるか不安がある。
7.  標準修業年限（3年間）で修了できるか不安がある。
8.  そもそも博士課程で要求されるレベルが分かっていない。
9.  他大学大学院の様子・レベルがわからない。
10.  その他（次の設問で理由を記入してください）

5-2:設問5-1の質問で10.その他と回答した方はその理由をご記入ください。【記述式 400文字以内】

入力文字数：0文字

6-1:博士課程進学を検討：設問2の修士課程修了後の進路について、2.新潟大学大学院の博士課程へ進学したい。と回答した方へお伺いします。博士課程への進学を検討することに影響のある観点を選択してください。（推奨3点選択）【11者択3】 ※最低3個の選択肢を選択してください。

1.  学部での研究テーマが魅力的で、博士課程でもその研究を継続したいから。
2.  博士課程でも、企業や他大学との共同研究をより経験したいから。
3.  学部での研究活動が充実していたから。
4.  接した教員が魅力的だったから。
5.  接した先輩が魅力的だったから。
6.  博士課程でも研究を続けることで、より成長できると思うから。
7.  就職活動に有利だと思うから。
8.  将来は、アカデミアでの活躍を希望しているから。
9.  周囲がそうするので。
10.  正直、深く考えていない。
11.  その他（次の設問で理由を記入してください）

6-2:設問6-1の質問で11.その他と回答した方はその理由をご記入ください。【記述式 400文字以内】

入力文字数：0文字

7-1:博士課程進学改善への取組み：新潟大学大学院自然科学研究科博士課程が今よりさらに魅力的になり、進学を前向きに検討するためには、どのような活動や研究の舞台、仕組みが充実するべきだと思いますか。【13者択13】  
**(必須)** ※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  自分自身の研究について、その内容及び時間に裁量があること。
2.  分野・専攻を超えた学問交流・融合が必要である。
3.  国際的な学術交流（海外での研究インターンシップ、海外の大学への留学、国際学会、海外機関との共同研究など）が必要である。
4.  目的に応じて計画的に組まれた講義や演習が必要である。
5.  指導者・研究者としての教員の質の高さが必要である。
6.  教育・研究指導を受ける機会の充実が必要である。
7.  学費・生活費に対する経済的支援が必要である。
8.  企業との関わり（連携授業、共同研究、インターンシップなど）が必要である。
9.  大学発ベンチャー企業での活動が必要である。
10.  社会との関わり（学会・学術界以外の一般社会に向けた情報発信など）が必要である。
11.  博士課程に対応した就職支援の取組みが必要である。
12.  身近にロールモデルや相談役がいることが必要である。
13.  その他（次の設問で理由を記入してください）

7-2:設問7-1の質問で13.その他と回答した方はその理由をご記入ください。【記述式 400文字以内】

入力文字数：0文字

8:博士課程進学を支援する返還不要の奨学金制度（学振DC、フェローシップ、次世代事業：いずれも年間200万円程度支給）があることは知っていましたか？【2者択1】**(必須)** ※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  知っている。
2.  知らなかった。

9:設問8の奨学金制度があれば、博士進学を検討する材料にはなりますか？【4者択1】**(必須)** ※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  金銭的問題で博士進学をあきらめていたが、この制度を利用して博士進学を検討したい。
2.  奨学金制度は知らなかったが、当初から博士進学するつもり。できれば制度を利用しようと思う。
3.  奨学金制度とは関係なく、当初から博士進学するつもり。制度を利用することはない。
4.  奨学金制度とは関係なく、博士進学するつもりはない。